

中小企業経営トップセミナーを平成 24 年 3 月 16 日（金）に開催した。タイトルは「経営力を高める『アメーバ経営』～京セラグループの成長を支える独自の経営管理システム～」。

KCCS マネジメントコンサルティング(株) 取締役経営システム第 1 事業部長の松井達朗氏を講師に迎え、京セラの経営手法であるアメーバ経営の概要と、導入事例の紹介を戴いた。

アメーバ経営は、①会社を小さな組織に分け、役割や責任を明確にする、②組織の評価を公平・公正に表す全社共通の経営指標を導入、③経営情報をオープンにし各部門へタイムリーにフィードバックする、という特徴を持つ。これにより、マーケットに直結した部門別採算管理制度の確立、経営者意識をもつ人材の育成、全員参加経営の実現、といった目的を達成し、持続的に成長・発展して行く企業体質の実現しようとしている。



また、製造業の会社での導入事例が紹介された。現状組織や運用・仕組上の問題点を明らかにしたうえで、各部門の責任・成果を明確にできる組織に変更し、採算管理の期間を「月次」に改めることで、タイムリーな戦略を構築することを可能にし、また、PDCA サイクルの確立なども行った結果、売上は対前年比約 7% プラス、仕掛在庫高も約 11% マイナスとなった。

参加者からは、「アメーバ経営を考えることができれば、より良い現場運営ができる」といった感想を戴いた。